

A 病院産後健診における EPDS、赤ちゃんへの気持ち質問票得点と担当助産師の関わりの検討

1. 研究の対象

平成 29 年 11 月から平成 30 年 10 月に出産した産婦の診療録

2. 研究目的・方法

研究の目的：

- ・ A 病院において、産後 2 週間、1 ヶ月健診において、EDPS と赤ちゃんへの気持ち質問票の得点から、うつ病リスクや愛着に問題のある産婦がどの程度いるのかを明らかにすること。
- ・ 背景やうつ病リスク愛着不全リスクを踏まえ、A 病院においてどのようなケアや連携等が行われているのか明らかにすること。

研究期間：倫理審査承認日 ～ 2019 年 6 月 17 日

調査方法：診療録（電子カルテ）調査

3. 研究に用いる試料・情報の種類

「エジンバラ産後うつ病質問票」得点、「赤ちゃんへの気持ち質問票」得点、年齢、精神疾患の有無、初経産、出生児の NICU・GCU へ入室の有無等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：大阪市都島区都島本通 2 丁目 13 番 22 号

電話：06-6929-1221

研究責任者： 地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター
すみれ 9 病棟 峰 博子